

学校教育における薬に関する教育 - 日本の現状 -

1) 教育現場

- ・養護教諭・学校薬剤師等:医薬品や薬物乱用防止の教育(麻薬・覚せい剤・シンナー等の危険性の教育)等

2) 実践例

- ・福島県立医科大学医学部附属病院薬剤部試験研究室(斉藤百枝美主任薬剤技師 他)
 - 義務教育における薬の基礎知識に関する講義の実践(平成12年) -
 - 対象: 養護学校生(小学生、中学生)及び一般中学生(1, 2年生)
 - テキスト: フランスの学校教育カリキュラムを参考

小学校低学年用	小学校高学年用	中学校用
1. 熱が出たとき、どうしたらいいでしょう？ 2. お医者さんはどんなことをするのでしょうか？ 3. くすりはどんな形があるか知っていますか？ 4. 薬局はなにをやる場所でしょうか？ 5. くすりのふくろにはなにが書いてあるか、わかりますか？ 6. くすりは1度に何回分ものんでもいいですか？ 7. 坐薬はどうやって使うか知っていますか？ 8. くすりをのむのを忘れてしまったときはどうしたらいいでしょうか？ 「薬をのむときの約束」	1. 薬と食べ物はどこがちがうのでしょうか？ 2. 薬にはどんな種類があるのでしょうか？ 3. 錠剤を口の中をかみくだいてのんでもいいのですか？ 4. 錠剤はなぜ包装から取り出してから飲まなければいけないのですか？ 5. 大人と子供では薬をのむ量は違いますか？ 6. 薬のききめと薬の量は関係がありますか？ 7. 薬はのむと体の中でどうなるのでしょうか？ 8. 食前、食後、食間、頓服とはいつ薬をのむことですか？ 9. 薬はどれくらいの水で飲むといいですか？ 10. もし薬をのみ忘れてたらどうしたらいいですか？ 11. 薬の袋(薬袋)には何が書いてあるのですか？ 12. 薬はどうやって保存するといいですか？ 「薬をのむときの約束」	1. 薬は他の商品とどこが違うのでしょうか？ 2. 薬にはどんな剤形があるのでしょうか？ 3. 薬はのむとからだの中でどうなるのでしょうか？ 4. 錠剤を口の中をかみくだいてのんでもいいのですか？ 5. 錠剤はなぜ包装から取り出してから飲まなければいけないのですか？ 6. 薬と薬の相互作用(のみあわせ)はなぜおこるのですか？ 7. 薬のききめと薬の量は関係がありますか？ 8. 食前、食後、食間、頓服とはいつ薬をのむことですか？ 9. 薬はどれくらいの水で飲むといいですか？ 10. もし薬をのみ忘れてたらどうしたらいいですか？ 11. 薬袋には何が書いてあるのですか？ 12. 薬はどうやって保存するといいですか？ 「薬をのむときの約束」

講義後のアンケート及び試験結果から、生徒の薬に対する理解の深まったことが確認された。

⇒ このことから、分かりやすい適切なテキストが用意され、丁寧な説明があれば、薬の正しい使い方の講義は薬に対する理解、意識の向上等に極めて有効な手段であると考えられる。

薬の正しい使い方 - フランス学校教育における試み -

- ・ 目的：薬という個人と集団の健康に係わる製品の正しい使い方を，9歳から18歳の間3回教育することにより，健康に対する個人及び共同の責任を担わせ，保健衛生の向上に役立たせる．
- ・ 経緯：1977年着想 1994年から実施
- ・ 計画の運営：文部省視学局と生物学 - 地学教員協会の協力のもと、消費者グループ 医師と薬剤師のグループ 医薬品産業界 薬剤師会及び国立健康医学研究所 (INSERM: Institut National Scientifique Recherche Medecin) の協議体で運営
- ・ 教育カリキュラム

ステップ1

(小学校：9～10歳)

- 教育内容**
- ・ 薬とは何か，どのように使われるか，様々な病気のことを勉強
- 教材**
- ・ 指導要領 (教師用)
 - ・ 健康の学習帳 (生徒用「薬の正しい使い方」36コマ漫画)
 - 1-薬を知る
 - 薬とは何か？
 - 薬とはどういうかたちをしているか？
 - 薬はどのように用いられるか？
 - 2-病気の回復への流れ
 - 病気をどのように知るか？
 - 両親の役割は何か？
 - 医師の役割は何か？
 - 薬剤師の役割は何か？
 - 薬はどのようにしてつくられるか？
 - 3-薬の正しい使い方
 - 薬を用いる時はどういう注意をすべきか？
 - 避けなければならない間違いは何か？
 - 家庭常備薬の収納箱について
 - ・ 薬の正しい使い方憲章 (生徒自らが署名し，理解したことを示す)

ステップ2

(中学校から高校初級：12～15歳)

- 教育内容**
- ・ 生命科学等のカリキュラム中で薬の正しい使い方
 - ・ 12歳～15歳の心身の成長期の話
- 教材**
- ・ 薬の正しい使い方
 - 1-薬の正しい使い方
 - 2-食物を取ることと健康
 - 3-抗生物質
 - 4-喘息とアレルギー
 - 5-避妊
 - 6-心筋梗塞
 - 7-マラリア
 - 8-神経系と精神障害の薬
 - 9-ワクチン

ステップ3

(高校上級：17～18歳)

- 教育内容**
- ・ 社会科学等のカリキュラム中で薬の正しい使い方の総括
- 教材**
- ・ 薬の正しい使い方
 - 1-健康への出費 (医療費推移、社会保険給付率等)
 - 2-薬と社会 (薬剤費の償還、薬の市場等)
 - 3-薬の誕生：新しい分子の発見から市販まで
 - 4-薬の生涯に關与する主役
 - 5-フランス及びヨーロッパにおける健康管理と薬
 - 6-薬の産業
 - 7-責任：薬の正しい使い方のために
 - 8-練習問題
 - 9-付録：薬の歴史-薬に係わる職業-用語集-文献
 - ・ 薬に関する8分間のビデオ